



安全とあなたの未来を支えます

(別添)

2020年5月28日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中部支所

News Release

屋内で起こる高齢者の転倒・転落事故を防ぐ ～安全な製品選びのポイントと運動時の注意点～ ～ 東海4県版 ～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、屋内で長い時間を過ごすことが多くなりました。外出を控えて動かないことによる高齢者の身体機能などの低下が懸念されています。

NITE(ナイト)に通知された高齢者が被害者となった屋内の製品事故情報^{※1}は、2010年度から2019年度までの10年間に東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)では110件^{※2}あり、被害別は死亡34件(31%)、重傷26件(24%)、軽傷50件(45%)でした。

その中で、転倒・転落事故は16件(15%)発生しています^{※3}。いすや踏み台^{※4}などでは、高齢者がバランスを崩して事故が発生していると考えられます。高齢者による転倒・転落事故を防ぐためには、使用者自身の身体機能を維持することが特に重要です。また、正しい使い方でも身体機能などの低下に伴い事故に遭うおそれがあるため、使用時に注意すべきポイントを再度見直す、体格や使用環境にあった製品を選ぶなどして、事故を未然に防ぎましょう。

1. 高齢者が被害者となった屋内の製品事故発生状況

(1) 各県の年度別 事故発生件数

表1に高齢者が被害者となった屋内の製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)

年 度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合 計
2010 年度	2	4	6	1	13
2011 年度	4	9	1	3	17
2012 年度	2	3	1	0	6
2013 年度	4	4	0	1	9
2014 年度	2	7	1	1	11
2015 年度	1	8	4	1	14
2016 年度	1	4	6	0	11
2017 年度	3	4	3	3	13
2018 年度	1	2	2	1	6
2019 年度	0	7	3	0	10
合 計	20	52	27	11	110

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) 2020年3月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) 火災事故を除くと、転倒事故が最も多く発生している。

(※4) 踏み台は、安全に乗れる天板に乗ることができる脚立を対象とした。天板の高さが80cm未満の製品が多い。

(2) 各県の被害状況^{※5}別 事故発生件数

表2に高齢者が被害者となった屋内の製品事故の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表2 「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）

被害状況 ^{※5}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	10	18	4	2	34
	重傷	5	9	10	2	26
	軽傷	5	25	13	7	50
物的被害	拡大被害	0	0	0	0	0
	製品破損	0	0	0	0	0
被害なし		0	0	0	0	0
合計		20	52	27	11	110

(※5) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 製品別の事故事象別 事故発生件数

表3に高齢者が被害者となった屋内の製品事故 110 件のうち、転倒・転落事故 16 件について、表3に「製品別」及び「事故事象別」の事故発生件数を示します。

表3 「製品別」及び「事故事象別」の事故発生件数（単位：件）

製品\事故事象	転倒事故	転落事故	総計
踏み台	4	1	5
いす	3	1	4
車いす	1	2	3
介護ベッド	1	1	2
ドア	1	0	1
運動器具	1	0	1
総計	11	5	16

2. 高齢者の製品事故の事故事例

(1) 転倒： 踏み台

2017年7月（三重県、65歳代・男性、軽傷）

【事故内容】

踏み台を使用中、転倒して軽傷を負った。

【事故原因】

踏み台を使用する前に開き止め金具をロックしなかったため、天板に乗って作業中に片側の脚部が折りたたまれ転倒し、反対側脚と天板との接合部付近に落下して軽傷を負ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「全ての止め金具を確実にロックする。止め金具のロックが不十分な状態で使うと、足場台が折りたたまれて、転倒や転落のおそれがある」旨、記載されている。

(2) 転落： 車いす

2011年5月（静岡県、80歳代・男性、重傷）

【事故内容】

ベッドから車いすに移乗する際、車いすが回転し、転落して負傷した。

【事故原因】

車いすは、右側駐車ブレーキが調整され、右側駐車ブレーキが掛からなかったため、移乗時に車いすが回転し、重傷を負ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ブレーキの利きが悪い場合は、すぐに購入販売店もしくは当社カスタマーサポート室にご連絡ください。」旨、記載されている。

3. 高齢者が被害者となった屋内の製品事故の実験映像について

高齢者が被害者となった屋内の製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

■映像の提供について

提供する映像へのクレジットは「製品評価技術基盤機構+nite ロゴ」としてください。



写真 静止画例

(本件に関するお問い合わせ先)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 葛谷 弘之

担当者：横田、横山

電話：052-951-1933 FAX：052-951-3902

以上